

マスコミ各位

平成28年9月28日(水)
沖縄県保健医療部 健康長寿課
担当：山内、仁平
098-866-2209

レプトスピラ症の集団発生事例について

県内では、例年6～10月にかけて、主に河川でのレジャー等の際に感染したと考えられるレプトスピラ症患者の増加がみられます。今年は6～8月に10例のレプトスピラ症が発生し、そのうち9例が河川、1例が水田を推定感染源とされたため、8月25日に県民へ注意喚起を行いました。しかし、その後も9月26日の時点で新たに河川を推定感染源とする20例の患者が確認され、統計のある2003年以降、最多の年間報告数となっています。

また、新たに報告された20例の患者のうち、小学生9名、中学生1名及び30代1名の合計11例が、8月6～7日に国頭郡国頭村の奥間川へ川遊びに行った8～12日後に発熱、筋肉痛及び結膜充血等を発症し、レプトスピラ症と診断されたことが判明しました。そのため、改めて県民に情報提供と予防の徹底を呼び掛けます。

レプトスピラ症の原因菌は、ネズミやマングース等の野生動物の体内に潜んでおり、尿中に同菌を排出することから土壌や河川を汚染することがあります。特に雨降り後の河川では、汚染された土壌が流れ込むため注意が必要です。

今回の集団発生事例は奥間川が感染源と推定されます。しかし、それ以外の河川を推定感染源とする症例も沖縄本島北部地域で10例、石垣島で1例、西表島で7例確認されていることから、県民の皆様は、①皮膚に傷がある場合は、河川での遊泳を控えるなどの予防対策を心がけるとともに、②河川での遊泳やレジャーの後、2週間以内に突然の頭痛、発熱、筋肉痛の症状がでたら、すぐに医療機関を受診し、河川に行ったことを医師に伝えてください。

【患者の情報】

症例	診断日	年齢	性別	推定感染地域	推定感染源	備考
No. 1	H28. 6. 23	50 代	男性	西表島	河川	西表島の川
No. 2	H28. 6. 27	40 代	男性	西表島	水田	
No. 3	H28. 7. 14	30 代	男性	石垣島	河川	宮良川
No. 4	H28. 8. 4	40 代	男性	北部地域	河川	汀間川
No. 5	H28. 8. 4	30 代	男性	西表島	河川	西表島の川
No. 6	H28. 8. 5	30 代	男性	西表島	河川	仲良川、浦内川
No. 7	H28. 8. 9	20 代	男性	西表島	河川	大見謝川、ピナイサーラの滝
No. 8	H28. 8. 10	20 代	男性	西表島	河川	大見謝川、仲良川、浦内川
No. 9	H28. 8. 12	20 代	男性	西表島	河川	西表島の川
No. 10	H28. 8. 18	20 代	男性	北部地域	河川	大宜味村の川
No. 11	H28. 8. 19	10 歳未満	女性	北部地域	河川	比地大滝の川
No. 12	H28. 8. 19	10 歳未満	女性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 13	H28. 8. 20	40 代	男性	北部地域	河川	楚洲川、羽地川、天仁屋周辺
No. 14	H28. 8. 20	20 代	男性	北部地域	河川	ター滝
No. 15	H28. 8. 26	10 代	男性	北部地域	河川	源河川
No. 16	H28. 9. 2	10 代	男性	北部地域	河川	河川不明
No. 17	H28. 9. 2 (報告年月日)	10 代	男性	北部地域	河川	楚洲川
No. 18	H28. 9. 6	10 歳未満	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 19	H28. 9. 9	50 代	男性	北部地域	河川	平南川

No. 20	H28. 9. 15	50 代	男性	西表島	河川	ゲータ川、マヤロックの 滝
No. 21	H28. 9. 13 (報告年月日)	10 歳未満	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 22	H28. 9. 13 (報告年月日)	10 歳未満	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 23	H28. 9. 13 (報告年月日)	10 歳未満	女性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 24	H28. 9. 15	10 歳未満	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 25	H28. 9. 15	10 代	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 26	H28. 9. 15	10 歳未満	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 27	H28. 9. 16	10 歳未満	女性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 28	H28. 9. 16	10 歳未満	男性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 29	H28. 9. 16	30 代	女性	北部地域	河川	奥間川 (8/6~7)
No. 30	H28. 9. 20	10 歳未満	男性	北部地域	河川	東村の川

【レプトスピラ症について】

原 因：病原性レプトスピラ（学名：*Leptospira interrogans*）。細菌。

潜伏期間：3～14日

主な症状：頭痛、発熱（38℃以上）、筋肉痛・関節痛、結膜充血。

重症になると、腎機能障害、黄疸などの症状が現れ、治療しないと死に至ることもあります。

治 療：ペニシリンやストレプトマイシンなどの抗生物質が有効とされています。

保菌動物：病原性レプトスピラは、ネズミやマングースなど野生動物の腎臓に潜っており、尿中に菌が排せつされます。

感染経路：病原性レプトスピラを保有している保菌動物の尿で汚染された土壌や水と接触する際に、皮膚の傷、鼻や目の粘膜を通して感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。

感染症法：四類感染症

【予防方法について】

1. 皮膚に傷がある場合は、河川での遊泳を控える。
→皮膚に傷がある場合、感染しやすくなることが知られています。
2. 河川や滝などの生水はそのまま飲まない。
3. 水田、山林で作業をする場合は、長靴や手袋を使用し、土や水との直接的な接触を避ける。
4. 捕獲したネズミなど、素手での野生動物との接触をさける。

※ 川遊びをした後や、畑、水田、山林などで作業した後、3～14 日以内に発熱、頭痛、筋肉痛などの症状がでたら、すぐに医療機関を受診し、川遊びなどの状況を伝えてください。

【参考】

レプトスピラ症の推移（2003 年～2015 年）

年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
全国	16	7	17	24	34	42	15	22	26	30	29	48	33
沖縄	16	7	7	4	21	28	7	10	7	6	7	28	13

※レプトスピラ症は 2003 年 11 月に 4 類感染症に指定